イスラ ムにおける社会的 (下): ムスリムと非ムスリム

:

明:

信仰の相 によって摩擦と 立が引き起こされるような多元的社会において、 を させることの出来る 方法とは。

目:事イスラムによる利益社会への利益

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ

⊞03 Sep 2012

集日 10 Sep 2012

ムスリムと非ムスリム



当たり前のことながら、社会はムスリムだけによって 成されているのではなく、ムスリムと非ムスリムは非常に なる道を んでいます。ムスリムの人生は、神への信仰を として回 しています。同 に、ムスリムによる他者への は、その人の神に する 度によって

まります。神に背き、神への服 を拒否し、神への信仰を嘲笑うような者に し、ムスリムが完全な 近感を感じることは不可能です。そのような 者に完全な 情が育まれることは、 に不自然なことでしかありません

。しかし、そうした の感情にも わらず、ムスリムは非ムスリムに して公正な 度で接しなければなりません。それはすべての非ムスリムに 用されます。多くの非ムスリムは ムスリムに して全く 的ではない一方、明らかに 蔑的な 度を取る者や、憎 を持つ者たちも多く存在しています。2

非 の非ムスリムに する基本的 遇の原 としては、次のクルア ンの において 出すことが出来ます。

不信仰者に する重要な とは、 切で公正な 遇です。このことは著名なイスラ ム学者のシャイフ イブン バ ズによっても述べられています。

"もし非ムスリムがイスラ ム国家の市民であるか、もしくは保 の 象なのであれば、(ムスリムはそのような)他者の生命、富、名誉を かしてはなりません。他者の 利は尊重すべきなのです。盗みによって人の富を かしたり、嘘をついて したりしてはならないのです。彼らに虐待や 害のような肉体的危害が加えられてもなりません。国家による保 は、彼らをそういったものから保 するのです。"

ムスリムは、例えば 、 などにおいて非ムスリムと取引をすることが出来ます。 さらには社交的水 においても、会食などの交流が可能です。しかし、社会的 などの相 から、そういった交流は自然と限定的になります。ムスリムによる非ムスリムとの交流の究 的な目的は、彼らをイスラ ムに き、それを通して彼ら同士の同胞 の道を くことだと言えるでしょう。たとえ非ムスリム が 的で 礼であったとしても、その をはねつける方法は善行によるものであることをムスリムを知っているのです。神はこう述べています。

イブン バ ズは要 してこのように述べています。

"ムスリムがイスラ ム的礼 をもって不信仰者と接することは、彼らがムスリムにして を仕 けてきているのではない限りは 行 です。ムスリムは彼らとの信 を保ち、彼らに して欺くことも、 切ることも、嘘を付くこともしてはなりません。もし彼らとの や 争が き起こったのなら、最善の 度で み、公正な を行うべきです。このことは神の命令に うことでもあるのです。"

ムスリムは彼らに善を め、助言を与えると同 に、彼らに して辛抱 くあり、 人 を き 、 切にすることが 励されています。なぜなら、神は次のように述べているからで す。

また、神はこのようにも述べています。

"...???????????..."???????2?83?5

ムスリムと全体としての社会

ムスリムがある国家に居住することを了承したのであれば、彼は本 的にはその国家の 法律を 守するという 定を んだことになります。ムスリムであるから、またはそこがイ スラ ム国家ではないからといって、ムスリムにその国の法律を破る 利はないのです。 それゆえ、この章で述べられた 切な 度の原 は、ムスリムにとっていかなる 所において も 用されるのです。 在の大半の国では、ムスリムにとって禁じられたことが合法とさ れています。それらの「合法」とされた物事を、ムスリムは避けなければなりません 。また、彼は基本的 利を 使し、イスラ ムにおいて禁じられたことを 要されないように 要求しなければなりません。彼は法を 守する市民でなければならないことが大前提な のです。 それに加え、ムスリムは居住する社会にとってプラスの存在でなければなりません。 彼は 々な面においての模 的市民であるべきなのです。既述されたように、彼は良き 人であるべきですし、彼にはどこにいるのであれ、 善の があります。また、彼は 人、 盗、 窃盗など、大半の社会が凶 犯罪であると なすものを忌避しなければなりません。 さらに、彼はアルコ ルやドラッグの消 も禁じられており、社会に して自らの弱さや依存性を 担とさせてはならず、他人に しても公正で にかなったやりとりをしなくてはならないのです。

イスラ ムでは、 人が自らの国家を し、生まれ育った土地に 近感を持つことは自然なこ とであると
します。
去にムスリムたちが多神教徒の支配下にあったマッカから追い出 されたとき、彼らの多くはマッカへの 情を表明しました。それゆえ、ムスリムが居住 する土地がどこであれ、そこへの 着を持つことは、たとえそこがイスラ ム国家でなく とも自然なことなのです。故 にとって最善のことを望むのもまた、自然なことです。 しかし、何が「最善」であるのかという 念は他者によって共有 をされないかもしれま せん。たとえば、ムスリムはギャンブル、春、ポルノの撤を望むでしょう。それがム スリム 非ムスリムを わず、人 にとって最善であるとムスリムは なすからです。しかし ながら、多くの非ムスリムはそうした感情を共有しないでしょう。こうしたことがない。 のです。理 上は、 代の「自由」社会において、これは にはならないはずなのです。非 ムスリム国家の中の多数派に的な文化の中で、少数派であるムスリムは他者に危害を 及ぼすことなく、自分たちの に基づいた生活は出来るはずなのです。もし、「自由」 な国家がムスリムにそうすることを さないのであれば、それは彼らが自分たちの理念 に忠 ではないことを示します。ムスリムは彼らに危害を加えようとはしないどころか 的な文化における なったライフスタイルを取り入れつつも、善良な市民であること を心がけるだけなのです。

多元的社会においてさえ、イスラ ムの教えは社会的 を えます。第一に、そうした に する大きな障害である人 差 と偏 が取り除かれます。第二に、イスラ ムを信仰する者同士 の 情と が ばれます。第三に、信仰外の人々には、明 で 定的な指示により、公正で 切な

度に基づいた が取られます。第四に、ムスリムは周 にいる人々に する自らの 任を理解し、さらなる社会的 と良き感情を促 するため、すべての面において 献出来るよう努力するのです。

Footnotes:

1 このことは世俗主 者たちにとっても同 の事 です。政治における左翼と右翼はお互いに して蔑み、 意を しません。

2

ムスリム国家が非ムスリム国家と 争をするような事 も 生します。交 状 は人 の 史において珍しい 象ではなく、必 的な 力 への 展を否定するものでもありません。事 、欧州 国はときには100年以上に渡って 争に明け暮れましたが 欧州 合として しています。交 状 は、そのようなムスリムと非ムスリムの に影 を与えます。しかし、それは 在のて一般的なケ スではないゆえ、そういったケ スの はこの 考の を超えるものです。

- Ali Abu Lauz, compiler, Answers to Common Questions from New Muslims (Ann Arbor, MI: IANA, 1995), p. 30.
- 4 非ムスリムの 戚や 人に する は既に取り上げられています。
 - Ali Abu Lauz, Answers, p. 42.

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/518

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。